

※ 外部意見の反映

## 幕別町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の報告書に対する主な意見

本報告書を作成するにあたり、点検及び評価の客観性を確保する観点から、知見の活用として町長部局の部長職等から聴取した主な意見は次のとおりである。

- 「1 教育委員会の会議等の開催状況」については、会議ごとに報告、議案の案件名が記載されているだけなので、その内容の理解に結び付かないと感じた。
- 「学び隊」「ふるさと館事業委員」などのボランティアが高齢化等から担い手不足であり、事業を継続するためにも、ボランティアを集める広報活動の手法を検討する必要があるのではないだろうか。
- 幕別教育の日は、平成28年度で10年目となりますので、現状と成果をもっと具体的に示してはどうですか。
- 少年団・部活動等で、本町の歴史などの学習の出来ない児童や生徒に、本町の歴史や文化面の体験学習する機会を企画してはどうですか。
- 各事業の点検・評価書に3か年の実績値が記載されていますが、当該年の目標値を定めているのであれば、目標値に対し実績値を併記すれば各事業の達成状況が把握しやすいのではと感じました。
- 隔年実施のものについては、3回分の数値を記載してはどうでしょうか。
- 町民が学校・家庭・地域社会のさらなる教育力の回復と充実を図るとともに、全ての町民が、これからのあり方を見直し、「文化の香る心豊かな学びのまちづくり」に生かすため、点検・評価結果をどう情報提供するか検討する必要があると思います。